

平成23年10月10日発行(毎月10日発行)

中央会月刊誌  
中小企業  
がごしま

2011  
第676号

10

特集  
テーマ

●繋がり力が活性化の道  
～異分野連携で新たな活路を～



鹿児島県中小企業団体中央会



南薩摩手には  
人と自然が醸す  
ゆったりとした  
時間が、  
流れています。



南薩摩のおおらかな自然と  
ゆったりとした時間の流れのなかで、  
人々は幾多の文化を育んできました。  
その一つに焼酎造りがあります。  
世界に認められた日本の蒸留酒「薩摩焼酎」。  
わたしたちは南薩摩の地で  
昔ながらの技法を伝承しながら、  
さらなるうまさへ挑戦し続けます。



黒は、薩摩。  
薩摩酒造株式会社  
鹿児島県枕崎市立神本町26  
<http://www.satsuma.co.jp>

飲酒は20歳を過ぎてから。お酒は適量を。飲酒運転は法律で禁止されています。  
妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。

目次

特集 繋がり力が活性化の道 ～異分野連携で新たな活路を～ ..... 2

中央会の動き ..... 6

- 第55回中小企業団体九州大会 一佐賀県で開催一
- 新理事長等講習会「理事長に求められる組合運営とリーダーシップ」
- 経済講演会「不況に負けない中小企業経営とは！」

インフォメーション ..... 8

- 雇用促進税制の創設について
- 「毎月勤労統計調査」のお知らせ

企業トップインタビュー ..... 14

- 一貫に徹する。～美味しい牛肉を好価格でお届けするために～  
株式会社カミチク 代表取締役社長 上村昌志氏

業界情報 ..... 16

平成23年8月 情報連絡員報告

倒産概況 ..... 18

平成23年9月 鹿児島県内企業倒産概況

中央会関連主要行事予定 ..... 20



**Region**  
鹿児島ブランド情報誌「リージョン」

No. 23  
2011 SPRING  
FREE MAGAZINE

特集  
**大隅子発見**

読むと、もっと鹿児島が好きになる。

特集  
**大隅子発見**

米永 千代美さん／伊藤 ふささん／尾方 広之さん／ミヤギ タケオさん  
田口 和行さん／松田 幸久さん／坂上 隆さん／肥後 隆志さん

【コンテンツ】  
クローズアップカゴシマ  
「新幹線が街を変える」  
Focus on 「三代 桃月庵白酒」  
KAGOSHIMA COMPANY REPORT  
「有限会社フェスティバロ」  
薩摩のイノベーター  
「八代・浜崎太平次」ほか

鹿児島 リージョン

最新号も含めこれまでのバックナンバーはすべてリージョンのホームページで読むことができます。  
(iPhone、iPadにも対応しています)

**洲上印刷** 〒891-0122 鹿児島市南栄3-12-2  
【代表】099-268-1002 【編集部】099-268-1060  
[www.fuchigami.net](http://www.fuchigami.net)

※鹿児島銀行(全店)、ファミリーマート(県内全店)ほか書店・ホテル・病院などに配布しております。



# 繋がりが活性化の道

## ～異分野連携で新たな活路を～

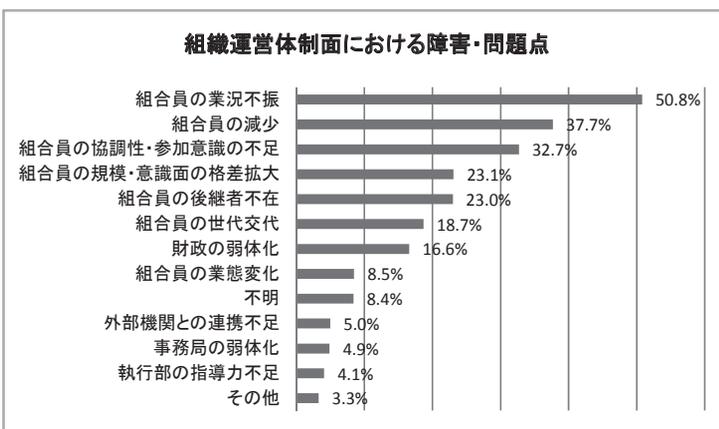
近年、中小企業組合を取り巻く環境は、組合員の業況不振、組合員の減少、組合への帰属意識の希薄化など従来にも増して厳しい状況にあります。また、新規組合設立件数も減少傾向をみせており、組合の共同事業においても全般的に活発であるとは言い難い状況です。

このような先行き不透明な状況の中で、組合のあるべき姿、進むべき方向について平成 22 年度中小企業組合白書並びに今年度、当会が鹿児島県より受託した「中小企業組合等異分野連携促進事業」の実施状況から検証します。

### I 組合を取り巻く厳しい現状

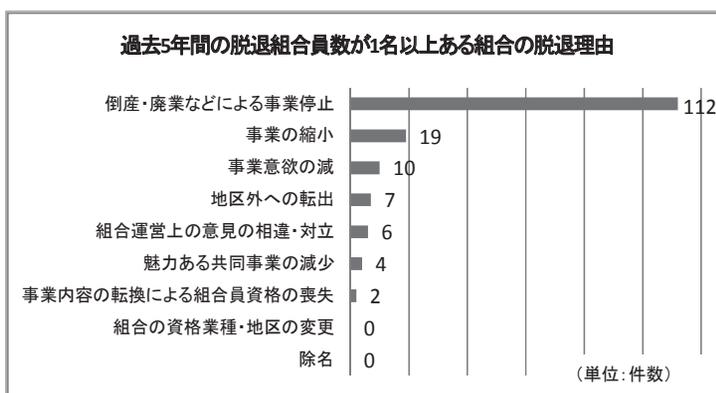
#### 「組合員の業況不振」、「組合員の減少」、「組合員の世代交代」が組合運営を直撃

平成 22 年度「中小企業組合白書」から「組織運営体制面における障害・問題点」をみると、「組合員の業況不振」(50.8%)、「組合員の減少」(37.7%)や「組合員の後継者不足」(23.0%)が上位を占め、景気後退、産業構造の変化の中で、「組合員の業況不振」、「組合員の減少」などが組合運営の障害となっている。



また、組合員の組合との関係を見ても、「組合員の協調性・参加意識の不足」(32.7%)、「組合員の規模・意識面の格差拡大」(23.1%)、「組合員の世代交代」(18.7%)などが挙げられ、組合員の世代交代や意識の変化が、組合の運営や事業への参加に影響を与えるようになっている。

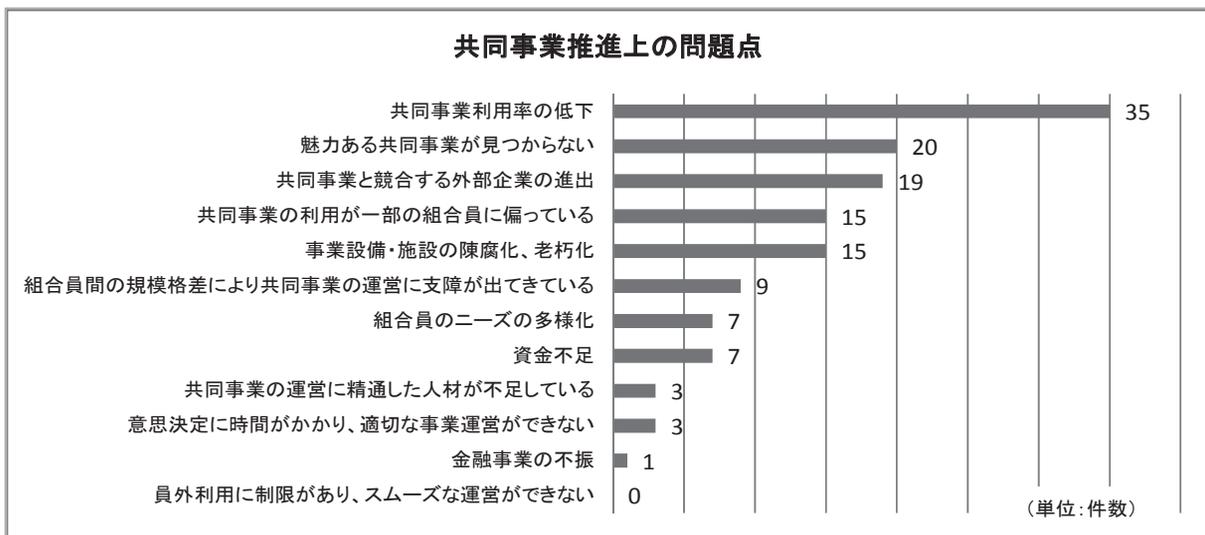
また、平成 21 年度に当会が実施した「組合台帳(基本情報)に係る調査、並びに組合財政、加入・脱退、共同事業に係る調査」によると「過去 5 年間の脱退組合員数」が 1 名以上ある組合の脱退理由は「倒産・廃業などによる事業停止」がもっとも多く、他を大きく引き離している。次いで「事業の縮小」「事業意欲の減」となっており、長引く景気停滞の影響が見られる。



## 共同事業推進上の問題点 - 「共同事業利用率の低下」が最多-

「共同事業推進上の問題点」については、「共同事業利用率の低下」が35件でもっとも多く、次いで「魅力ある共同事業が見つからない」(20件)「共同事業と競合する外部企業の進出」(19件)となっている。

内部的には既存事業の不振があり、競合事業の競争激化という外部要因も共同事業の利用率低下に拍車をかけている。ただ、「魅力ある共同事業が見つからない」という回答も多く、共同事業に対する期待度は高い。組合員のニーズに合致した魅力ある共同事業の発掘・提案が望まれる結果となっている。



以上のように、組合を取り巻く環境は大変厳しい状況にあることは言うまでもないが、一番の要因は経済環境の悪化により、組合員が経営不振に陥り、組合員数が減少していることが挙げられる。同時に組合員の世代交代が進んだ結果、組合への帰属意識が薄れ、共同事業が不活発な状況が続くという悪循環になっている。それでは、このような閉塞感を乗り越えるための必要な方策はなにか。

今年度、当会が実施している「中小企業組合等異分野連携促進事業」の調査結果を踏まえ、組合・企業が取り組むべき方策について触れてみたい。

## Ⅱ 異分野連携促進事業の概要

### 1. 背景・目的

現在の厳しい経済環境の中で、個々の中小企業が自らの力で中小企業の経営資源不足を克服し、高度化した市場ニーズに対応することは困難であるため、他者との連携により相互に経営資源を補完し、高い付加価値を実現する取り組みを促進する。このため、県内外の企業や事業協同組合等の交流促進や県内組合等の保有する経営資源（シーズ）やニーズに係る情報の収集・提供等を通じて新商品開発等を支援する。

### 2. 中小企業団体中央会の取り組み方針

従来の組織化支援をさらに一歩進めて、組合と組合の連携支援から、新たな事業の創造を実現する。また参加する組合員間の連携により、新たな組織化を支援する。

### 3. 実施事業

- (1) 県内組合等交流促進（シーズ・ニーズ調査、組合間・組合員間連携のコーディネート）
- (2) 県外組合等交流促進（県外組合・企業との交流機会の創出・提供、展示会への出展）
- (3) 組合活用及び組織化の促進（組合展示会の開催・連携事例紹介、相談・コーディネート）

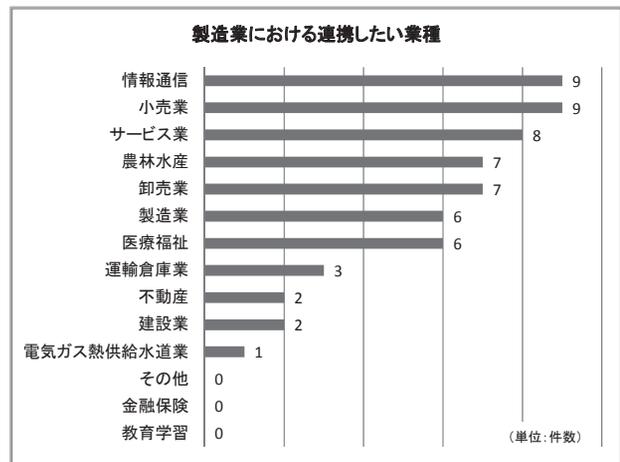
### 3. シーズ・ニーズ調査結果

#### (1) 取り組みたいとする業種

(企業調査) -グラフ数字は件数-

「取り組みたいとする業種」の質問項目に回答のあった113企業のうち製造業にあって取り組みたい業種は、小売業、情報通信業が同数で一番多く、次にサービス業が続く、農林水産業と卸売業が同数で続く。販路拡大に取り組みたいとする企業が多い。

卸売業にあっては、製造業、卸売業、小売業、サービス業、農林水産業がほぼ同数で取り組みたい業種が多岐に亘っている。建設業にあっては、不動産業が一番多く、次に同数で農林水産業、製造業が続いている。



#### (2) 取り組みたい内容

##### 【組合】

仏壇製造業では、葬祭業者と連携し新型仏壇、葬祭用具の開発、ダチョウ肉を生産する組合にあっては、ホテルや飲食業との連携により需要の拡大を図るといった取り組みがある。商店街組合では、商店街の空き店舗対策として不動産業者、医療福祉業との連携を模索している。薩摩焼製造業では陶器、陶磁器を建築素材として活用できないか、新分野進出の構想もある。また、紬製造業界では、教育機関と連携し、中学・高校生に対する着付け教室の開催。碎石、ガス業界でも同じく教育機関と連携し児童生徒に業界のPRを図りたいとする取り組みの回答が寄せられた。

##### 【企業】

回答のあった製造業で約6割近くを食品製造業が占め、新商品開発に対する取り組みが多い。特に機能性食品の開発、医療福祉分野との連携による高齢者向け食品の開発などに関心が高い。

卸売業では、福祉事業者と連携し宅配事業を行いたいとする事例もあった。

建設業では、農業分野にすでに進出し成果を上げている企業もあるが、漁業に進出し離島で獲れる魚類の加工販売に取り組みたいとする企業もある。保育園との連携による託児所の運営、精密機械メーカーとの連携による木材プレカット加工ロボットの開発、環境に関連する製品の開発など時代のニーズに応えた取り組みが多い。

## Ⅲ 「繋がりが」が活性化への道を拓く

市場のグローバル化が進む中、組合、企業もその奔流の渦に巻き込まれ、景気回復の実感がないまま将来への展望が持てない状況にある。また、市場ニーズが刻々と変化し、そのスピードに対応できないもどかしさもある。それでは、このような閉塞感を乗り越えるための必要な方策はなにかと問われれば、「中小企業自らが市場のニーズに応えた付加価値の高い商品、サービスの開発、販路開拓を行うこと」ではないだろうか。

組合にあっては、「組合員の参加意識（意識改革）を高め、連携を強化する中で組合員の増加を図っていくこと」、また、組合が実施している既存事業の拡充強化を図るとともに組合員のニーズを取り入れた新規事業の実施、他の組合、企業との連携の中で生まれる新たな需要の開発も必要だ。

今回の調査結果によると組合、企業には数多くのシーズ・ニーズの存在が明らかになった。シーズ・ニーズを生かすためには、不足する経営資源を補完する連携パートナーの存在も欠かせない。

そういう意味では、相互に連携する「繋がりが」こそが活性化への道を拓く重要なキーワードになるのではないかとと思われる。

シーズ情報/組合・企業掲載事例

■鹿児島県陶業協同組合

薩摩焼フェスタ



●薩摩焼を建築素材としての活用

鹿児島県の伝統工芸品「薩摩焼」の一層の飛躍を図るために、販路開拓、製造技術の向上及び後継者の育成を目的に設立。「窯元まつり」「薩摩焼フェスタ」等のイベント開催を通じて業界発展に貢献。

【連携してみたい内容】・薩摩焼を建物の壁面材やドアノブ等建築素材として活用することや、郷土料理店との連携による器の提供

【シーズ】薩摩焼、粘土

●住所：鹿児島県日置市日吉町日置 5679

電話 099-292-5156

■鹿児島県オーストリッチ事業協同組合

ダチョウの成鳥



●ダチョウ肉で地域おこし

ダチョウ肉は、生産が追いつかないほど、近年健康食品として注目を浴びている。ダチョウ肉の安定供給体制確保、生産効率の向上や経営体質の強化を目的に協同組合を設立した。

【連携してみたい内容】・ホテル業や飲食業との連携により、ダチョウ料理のメニューを創案、多くの観光客を大隅地域に誘致し地域振興を図る。・菓子業界との連携による菓子の商品化

【シーズ】ダチョウ肉、ダチョウ卵を使用した菓子類、卵、雛

●住所：鹿児島県鹿屋市大浦町 15770-1

電話 0994-46-3090

■有限会社新和建設工業

においを食べる水



●「においを食べる水」で地域振興

発酵培養した環境微生物で嫌な臭いを消臭する「においを食べる水」を開発、県の経営革新の承認やトライアル発注製品等の評価を受け、マスコミでも度々報道されるなど、家庭用他、あらゆる業界に対応する消臭水として大きく注目されている。

【連携してみたい内容】・化学合成成分を含有していないため、農水産物の生育にもプラス。農業者との連携により付加価値の高い農産物生産に貢献・靴、クリーニング、ホテル・旅館業界等との連携

【シーズ】瞬間消臭水「においを食べる水」

●住所：鹿児島県垂水市田神 1858

電話 0994-32-0333

■有限会社鹿児島ますや

元気な黒豚



●安心・安全・おいしい食品で健やかに

化学調味料をはじめ農薬や抗生物質等を多量に使った食材が氾濫する中、無添加の素材にこだわり、「安心」「安全」「おいしい」食品を全国に販売している。また、直営レストラン「豚珍館」には全国から来客があるほど有名である。

【連携してみたい内容】県内で無添加の食品を製造・加工している（又は今後行いたい）食品業者と連携し、全国に向けて広く共同販売を展開し、鹿児島の食の発展を目指したい

【シーズ】無添加の素材を使った加工食品、全国に向けた無添加黒豚加工品の通信販売、無添加食品の加工技術

●住所：鹿児島県始良市宮島町 29-3 電話 0995-66-4186



# 第55回中小企業団体九州大会 —佐賀県で開催—



第55回中小企業団体九州大会が「活かせ！地域・連携・組織の力～九州・沖縄新時代へ～」をテーマに、九州・沖縄各県より約1,200名が参加して開催された。

佐賀県中央会の内田健会長から、「震災によって中小企業のサプライチェーンでの大きな役割が再認識された。我々中小企業が団結することにより一日も早い復興を果たしたい。」との主催者挨拶があり、引き続き、大会名誉会長及び開催地市長挨拶並びに来賓祝辞が行われた。

議事は、8つの大会スローガンの下、東日本大震災で被災した企業の速やかな支援を国に要請するなど37の議案を決議し、また、被災地に対する全面協力や九州・沖縄の産業振興などの大会宣言を採択した。

最後に、次期開催地が長崎県に決定したことが発表され、大会旗継承、長崎県中央会会長挨拶、万歳三唱で閉会した。

**【優良組合】**

- 加世田電気工事工業協同組合
- 鹿児島県建築業協同組合
- 鹿児島貨物運送事業協同組合

**【組合功労者】**

- 水溜政典（鹿児島県漬物商工業協同組合理事長）
- 田中俊實（鹿児島県農業機械商業協同組合理事長）
- 川路益満（鹿児島県左官業協同組合理事長）
- 江夏 洋（鹿児島県生コンクリート工業組合理事長）
- 川崎洋三（奄美大島酒造協同組合理事長）
- 本白水千年（鹿屋上下水道工事協同組合理事長）

**【優良組合青年部】**

- 協同組合鹿児島県鉄構工業会青年部会

**【中央会優秀事務局専従者】**

- 上水樽由美（鹿児島県中小企業団体中央会 総務課主事）



以上 順不同

## 新理事長等講習会

# 「理事長に求められる組合運営とリーダーシップ」

9月9日（金）、鹿児島市の「ホテルレクストン鹿児島」で、新理事長等講習会が開催された。講師に鹿児島中国経済交流（協）の理事長である大茂健二郎氏をお招きし、「理事長に求められる組合運営とリーダーシップ」と題して講演いただいた。

大茂理事長は「当組合では外国人技能実習生受入事業を行っているが、不正行為は監理団体である組合の責任となる。そのため、教育情報提供事業を組合の最重要事業に位置付け、多くの時間を割いてきた。実習生の不安や不満を理解し、しっかり仕事に取り組めるようにサポートするのも理事長の務めと考えている。

理事長の責務とリーダーの役割には、4つの大切なポイントがある。すなわち、①覚悟をもって挑むこと ②人のために尽くすこと ③組合員のメリットを念頭に置くこと ④先を読むこと である。見返りを期待せず、組合員に利益配当ができるように、徹底的に組織のため、人のために役立つことをやり続けることが私の仕事と考えている。」と話された。

続いて本会より代表理事の役割と責務について解説したのち、出席者との意見交換が行われ、理事長として直面している様々な問題をどう解決するかについて活発な意見交換がなされた。参加者は今後の組合運営について、思いを新たに組み組んで行くきっかけとなると話していた。



## 経済講演会

# 「不況に負けない中小企業経営とは！」

9月29日（木）、鹿児島市の「鹿児島サンロイヤルホテル」で、経済ジャーナリストの内田裕子氏を講師に「不況に負けない中小企業経営とは！」をテーマに経済講演会を開催した。

講師は「わが国は東日本大震災の復興財源で18兆円の補正予算を計上し、民主党税調では所得税・法人税を柱とした増税が了承されている。一方、アメリカに目を向けると、不良債権処理、失業率、ドル安といった切迫した問題を先送りしているため、本格的な景気回復基調には程遠い。

こうした中、近年世界経済の中心は、対欧米からアジアへ大きく転換している。新興国におけるビジネスは『経営者の本気度』、『現地法人への権限委譲』及び『現地のニーズに合った商品』の3つが揃うことで初めてリアリティを持ち、競争の土俵に立つことができる。安全・安心という日本のモノづくりに対する信頼を生かし、この成長の波に新たな戦略をマッチングさせていくことも、中小企業が取べき手段の一策である。」と講演された。

アジアの成長を活かした中小企業の勝ち残り戦略に、参加者一同熱心に耳を傾け、活発な質疑応答が行われた。



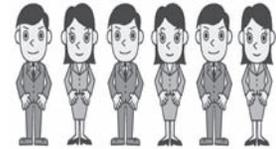


## 雇用促進税制の創設について

「雇用促進計画」をハローワークに提出し、**1年間で5人以上（中小企業は2人以上）、かつ、10%以上従業員数を増加させた事業主に対する税制優遇制度が創設されました。**

**従業員数の増加1人当たり20万円の税額控除が受けられます。**

※ 税額控除を受けるためには、従業員数の増加のほかにも一定の要件を満たす必要があります



### 1. 雇用促進税制の概要

平成23年4月1日から平成26年3月31日までの期間内に始まるいずれかの事業年度（以下「適用年度」といいます。）（※1）において、雇用者増加数5人以上（中小企業は2人以上）、雇用増加割合（※2）10%以上等の要件を満たす企業は、雇用増加数1人当たり20万円の税額控除（※3）が受けられます。

※1 個人事業主の場合は、平成24年1月1日から平成26年12月31日までの各暦年

※2 雇用増加割合 = 
$$\frac{\text{適用年度の雇用者増加数}}{\text{前事業年度末日の雇用者総数}}$$

※3 当期の法人税額の10%（中小企業は20%）が限度になります

### 2. 対象となる事業主の要件

- 青色申告書を提出する事業主であること
- 適用年度とその前事業年度に、事業主都合による離職者がいないこと
- 適用年度に雇用者（雇用保険一般被保険者）の数を5人以上（中小企業の場合は2人以上）、かつ、10%以上増加させていること

➤ 適用年度における給与等の支給額が、比較給与等支給額（※1）以上であること

※1 比較給与等支給額 = 
$$\text{前事業年度の給与等の支給額} + \text{前事業年度の給与等の支給額} \times \text{雇用増加割合} \times 30\%$$

➤ 風俗営業等（※2）を営む事業主ではないこと

※2 風俗営業及び性風俗関連特殊営業

### 3. 事務手続

- 事業年度開始後2カ月以内（※1）に目標の雇用増加数などを記載した雇用促進計画を作成し、ハローワークへ提出してください。⇒ハローワークが、従業員の新規採用を支援します。
- 事業年度終了後2カ月以内（個人事業主については3月15日までに）ハローワークで雇用促進計画の達成状況の確認を求めてください。確認を求めてから返送まで約2週間（4～5月は1カ月程度）を要しますので、確定申告期限に間に合うようご注意ください。

※1 なお、平成23年4月1日から8月31日までの間に事業年度を開始した事業主の場合には、10月31日までに提出してください。

◇ 雇用促進計画の作成・確認などについては、本社・本店を管轄する労働局又はハローワークまでお問い合わせください。

◇ 税額控除制度については、最寄りの税務署までお問い合わせください。

# 「毎月勤労統計調査」のお知らせ

～事業主の皆さまへ～

**毎月勤労統計調査へのご理解をお願いします！（平成24年1月から第一種調査対象事業所については抽出替えを行います。）**

厚生労働省及び鹿児島県では、常用労働者30人以上の第一種事業所、5人以上29人以下の第二種事業所を対象に「毎月勤労統計調査」を毎月実施しております。つきましては、継続及び新規の調査対象事業所におかれましては、毎月の報告等でお手数をおかけいたしますが、よろしくお願い致します。

**毎月勤労統計調査とは**

- ◎ 賃金、労働時間、雇用について毎月の変化を明らかにし、労働・経済対策の基礎資料とするものです。
- ◎ 調査の結果は経済指標の一つとして、景気判断を行う際の基礎資料として使われています。

**事業所の選定は**

- ◎ 厚生労働省が産業、規模ごとに無作為に選んでいます。

**秘密の保護は**

- ◎ 調査票に書かれた事柄は「統計法」により厳しく秘密が守られ、また、集められた調査票を統計上の目的以外に用いることは決してありません。



4人以下の事業所については、「特別調査」として年1回8月に調査しています。

＜お問い合わせ先＞ 鹿児島県 企画部 統計課 農林統計係  
 電話 099-286-2485（直通）  
 ＜県統計HP＞ <http://www.pref.kagoshima.jp/tokei/index.html>

きょうの出口。  
あしたの入口。

飲酒は20歳を過ぎてから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に影響を与えるおそれがあります。

明るい黒。

**黒伊佐錦**  
ISANISHIKI

薩摩焼酎

**大口酒造株式会社**  
鹿児島県伊佐市大口原田643番地  
[www.isanishiki.com](http://www.isanishiki.com)  
0120-86-9613

**KAGOSHIMA BANK**

## “かぎん”の事業資金ご融資が、さらに便利になりました。

便利 1

ご融資可能金額の提示が可能！

便利 2

最短48時間以内のスピード回答！

※銀行休業日は除きます。

便利 3

電話で受付手続き簡単！

◎決算書<sup>※</sup>をご提出いただいてから「最短48時間以内（提出日は除きます）」に「ご融資可能金額」をご提示します。  
※1 貸借対照表、損益計算書完備の直近2期分の決算書（附属明細を含みます。）

◎「ご融資可能金額」については、お客様の次回決算申告まで有効です。  
●直近決算日以降のお借入状況等により、「ご融資可能金額」は変動いたします。

お申込いただける方

鹿児島県・宮崎県内の売上が2億円未満の法人及び個人事業主の方

＜受付窓口＞———まずはお電話ください。———

鹿児島銀行 **法人ビジネスセンター** ☎0120-892-779

受付時間／平日 9:00～17:00 ※銀行休業日は除きます。

※審査の結果ご希望にそえない場合もございますのであらかじめご了承ください。

BEST/パートナー  
**三井生命**

こっこつ きちんと あなたのため  
 こっこつ きちんと みんなのため  
 こっこつ きちんと 地球のため  
 こっこつ きちんと 明日のため  
 こっこつ きちんと ウソはつかない  
 こっこつ きちんと マネもしない  
 こっこつ 愛して  
 こっこつ 生きてるあなたを、  
 また私たち三井生命も、  
 こっこつ きちんと応援します。

こ  
こ  
つ  
こ  
つ  
き  
ち  
ん  
と

**三井生命保険株式会社**  
 〒100-8123 東京都千代田区大手町 2-1-1 TEL:03-6831-8000 (大代表)  
<http://www.mitsui-seimei.co.jp/>



愛すべきは「鹿児島の自然」、伝えるべきは「鹿児島の食文化」

## 小鹿酒造株式会社

鹿児島県鹿屋市吾平町上名 7 3 1 2 番地  
 TEL0994-58-7171 FAX0994-58-8363  
<http://www.shochu-kojika.jp>

お酒は20歳を過ぎてから。飲み過ぎに注意しましょう。妊娠中、授乳期の飲酒はお控え下さい。  
 飲酒運転は絶対やめましょう。

小規模企業の  
経営者の  
みなさまへ

小規模企業  
共済制度

# 経営者ご自身の 「現役引退後の生活資金」のことを お考えですか？

こんな悩みにお応えします

「年金だけでは不十分で、不安がある」  
「自分で積み増しするには、どんな  
ものがあるの？」



小規模企業共済は、「小規模企業経営者の  
ための退職金制度」です。

平成23年1月1日より  
受付開始！

『事業主の「共同経営者」  
も加入の対象となります』  
共済加入対象者が、個人事業主  
の配偶者や後継者など  
「共同経営者」まで拡大されます  
(1事業主につき2人まで)

共同経営者の加入イメージ



加入し、掛金を毎月積み立てておけば…

将来、「廃業」「役員退任」等が生じたとき  
に共済金をお受け取りいただけます。



現役引退後の安心した  
生活設計が図れます。



●本制度の詳しい内容は、パンフレットを必ずご覧ください。

本制度のお申し込みは

鹿児島県中小企業団体中央会

〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号  
TEL 099-222-9258 FAX 099-225-2904

## ポイント

1. 加入に年齢制限はありません。60歳以上でもOK!
2. 常時使用する従業員の数が、20名以下(商業、サービス業5名以下)の個人事業主、又は会社の役員の方が対象です。
3. 毎月3万円の掛金(年間36万円)で、例えば、課税対象所得400万円の方ならば108,000円の節税になります。
4. 「小規模企業共済法」に基づき運営されています。



すでに本制度に加入されている方は…

掛金月額1,000円～70,000円の範囲内で自由に  
設定できます。(500円きざみ)

▶現在の掛金月額が7万円に達してい  
ない方は、増額をお勧めいたします。

※掛金月額増額申込書と増額される金額(現金)を添えて左記へお申し込みください。  
(掛金月額増額申込書がお手元に無い場合は、下記の共済相談室へご請求ください。)

## 九州電力からのお知らせ

# 台風時の停電に備えましょう！

### ■ 停電への備え

強風で飛ばされるおそれがあるものは、あらかじめしっかり固定しましょう。

### ■ 災害が起きたら

切れた電線を見つけたら、危険ですので絶対に触らずにお近くの九州電力へご連絡ください。

### ■ 台風時の停電情報をチェック！

台風による停電時には、電話がつながりにくくなることがあります。停電情報は下記のホームページでもご確認いただけます。

携帯電話版ホームページ

<http://kyuden.jp>

パソコン版ホームページ

<http://www.kyuden.co.jp>



2次元コード

### ■ 携帯メールサービス

台風による停電時には、ご登録いただいた携帯電話に停電情報をメール配信いたします。詳しくは、上記ホームページをご覧ください。九州電力の様々なイベントや省エネの情報などもお送りします。



九州電力

ずっと先まで、明るくしたい。

もしものPL事故に備える保険



# PL保険制度

生産物賠償責任保険(中小企業製造物責任制度対策協議会用)



約13,000件の  
支払実績!

製造業

これであなたも  
安心です!

販売業

お客様への  
引渡し後の  
事故を補償!

工事業

## 【 商工3団体による中小企業会員のための全国制度 】

～ 中小企業のための専用商品設計による割安な保険料 ～



万一の食中毒に  
備えましょう!

飲食業

入っていて  
よかったです!

請負業

さらに!  
リコール費用も  
安心です!

4年間で  
10,000件を  
超える  
加入実績!

リコール  
費用  
担保特約

リコール特約1億円タイプも  
ご用意しました!

本制度に加入できる方は、中小企業基本法に定められている中小企業者のうち、中小企業製造物責任制度対策協議会を構成する3団体(日本商工会議所、全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会)のいずれかの傘下団体に属する方に限られます。これらの3団体の傘下団体を脱退し、保険加入期間開始日時時点で非会員となった場合は、この保険にはご加入できませんのでご注意ください。

※LPガス販売、旅館経営、航空機(部品)製造、専門職業人(税理士、薬局、薬店等)等の方は、本制度の対象にはなりません。

※医薬品・生薬・漢方薬製造・工事業等を行っている会員企業様は「リコール費用担保特約」を付帯できません。

※中小企業等協同組合法に規定する組合については、引受保険会社までお問い合わせください。

新規・更新

- 振込期間 2011年4月1日～5月31日
- 加入期間 2011年7月1日午後4時～2012年7月1日午後4時

中途加入

- 振込期間 毎月1日～末日(6月以降)
- 加入期間 振込月の翌々月1日午前0時～2012年7月1日午後4時

鹿児島県中小企業団体中央会

〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号 TEL 099-222-9258



# 企業トップ インタビュー

## 一貫に徹する。

～美味しい牛肉を好価格でお届けするために～

株式会社カミチク  
代表取締役社長 上村昌志氏



私たちが普段から口にする牛肉。安心・安全でおいしい牛肉を食卓に届けるために、牧草からこだわり、肉食産業に至るまでの一貫体制を築いた企業 “カミチク”。

本号では、株式会社カミチク代表取締役社長の上村昌志さんに、美味しい牛肉づくりにかける思いを伺った。

### ● 創業の原点

私の父は畜産農家をしながら、家畜商を営んでいました。私は3人兄弟で、父は焼酎を飲むと私たち兄弟に畜産の夢を語ってくれたものです。長男には生産農家になれ、次男である私には長男の肉を売る肉屋になれ、そして3男には長男の肉に付加価値をつけるために外食を始めるとよく語っていました。

当時の父は、自分が育てた牛が思うような値段で売れないという悩みを抱えていました。その頃から、自分たちで生産から販売まで行一貫体制を築くことで、「儲かる畜産」という夢を描きはじめたのかもしれない。

そんな父の影響を受け、26歳のときに肉の卸売として「(有) 上畜」を創業しました。

創業当時は肉を仕入れて卸すだけの商売でした。当時の畜産業界は高級牛肉志向が業界のスタンダードとなっていました。しかし私の目指していた畜産は、お客様が欲しいいい牛をいかに安く提供できるかというものでした。

商売柄、肥育農家、流通・外食業者、研究機関など様々な人との出会いがあり、不思議と同じ夢や思いを持っている人々と輪ができるようになりました。そして、夢の実現の為に情熱を持って共に働いてくれる社員が集い「一貫体制」の実現に向けた会社づくりが動き始めました。



### ● 牛を育て、人材を育てる

牛は人が育てます。いい牛を育てるためには愛情が必要です。私は牛を育てることを通しての人材育成を目指しています。会社を育てるためには優秀な人材が必要です。優秀な人材を育てるためには、牛と同じように愛情を込めてじっくりと取り組んでいかねばなりません。私は創業当時から社員と夢を語り合い、目標に向けて対話を積み重ねてきました。新入社員に対しても、まず私は夢を語ることから始めます。「将来はこうありた

い「こんなことをやりたい」など会社のビジョンを示します。私共の「カミチク」が大きく育ち、利益を生むようになったのは、いい人材が育ってきた結果だと思っています。



## ● カミチクブランドの確立

いかにいい牛を低コストで作るか。いかに付加価値の高い牛肉を作るか。そのために私は消費者

の立場に立ち、消費者のニーズに応えるため、「自他共栄」の考えに基づき『好価格』というキーワードにたどり着きました。『好価格』とは、生産者もお客様もカミチクも満足する価格のことで、カミチクのオリジナルです。そのためにコスト削減や品質管理を徹底し、牧草づくりから外食産業までの「一貫体制」を整えました。

安心・安全で美味しい牛肉を作るためには良いエサが必要です。元気な子牛を生むためには母牛と種牛の研究が必要です。健康に牛を育てるためには体調管理が重要です。つまり一貫に徹するということは、「エサ作り」「研究」「飼育」「製品化」「提供」「外食」の各部門においてプロフェッショナルであることが求められます。

カミチクでは、鹿児島で育った美味しい牛肉を好価格でお客様にお届けすることで、「鹿児島と言えば牛肉、牛肉といえばカミチク」と言っていただけるように、日本一の畜産専門集団を目指しています。



## ● 鹿児島市部分肉加工協同組合理事長として

鹿児島市部分肉加工協同組合は鹿児島市食肉センター内にあり、牛と豚の部分肉加工を行っています。これまでも、安心・安全な食肉を市民の皆さんにお届けするために、衛生管理、品質管理は徹底してやってきましたが、東日本大震災による原発事故の影響を受け、現在ではセシウム検査を自主的に開始し、さらに高いレベルの管理を実施しています。

また、トレーサビリティ法施行以前から個人情報への積極的な管理に努めており、万が一の事態にも対応できるよう、食の安心と安全の確立には特に力を入れております。

### ■株式会社カミチク

1985年創業。鹿児島本社のほか東京、大阪、鳥栖に営業所を開設。関連会社に農業生産法人・有限会社錦江ファーム、有限会社三州育成牧場、株式会社アンドワークス、株式会社東食ミートセブンがある。外食にも力を入れており現在東京に自社ブランドの焼肉店「薩摩牛の蔵」「薩摩丹田」を展開している。また、ISO9001/ISO22000の認証も取得し、安心・安全な牛肉づくりに取り組んでいる。

# 業界情報（平成 23 年 8 月情報連絡員報告）

## 製造業

### 味噌醤油製造業

本格的な暑い夏を期待したが、梅雨の延長のような天候が続いたせいか、めんつゆなどの季節商品も思うように動かず、あまりパツとしないお盆商戦となった。

### 酒類製造業

(平成 23 年 7 月分データ。単位 kℓ・%)

区分	H22.7	H23.7	前年同月比	
製成数量	9,406.8	7,584.2	80.6	
移出数量	県内課税	4,911.1	4,601.7	93.7
	県外課税	6,296.8	5,688.5	90.3
	県外未納税	3,131.7	3,653.2	116.7
在庫数量	238,636.5	227,176.8	95.2	

### 漬物製造業

盆後の動きが鈍い。

### 蒲鉾製造業

県内のお中元、お盆等の帰省客の増加(新幹線効果)で、売上は少し増加した。全体では 5%のアップであるが、空港売店の売上が悪い。新幹線効果による航空機利用客の減少が考えられ、空港売店だけで見ればマイナス 15%である。原材料のスケソーは値下げで、同月比 10~20%の安値である。

### 鯉節製造業

昨年 8 月は悪い状況だったが、今年はそれ以上の悪い状況が続いている。原料も高止まりで、業界は良くなったという言葉が全然聞かれない。

### 菓子製造業

例年でも夏場は商品が出ず厳しいが、今年は大震災の影響で原材料の高騰もあり、更に厳しい。また、円高も今後不安である。

### 大島紬織物製造業

産地活性化の方策を検討するため「本場大島紬産地活性化計画策定委員会」を発足。9月2日に第1回の委員会を開催。委員には、学識経験者、流通代表、着物愛好者、行政関係者、業界関係者で構成。9月17日織姫館で紬の日イベントを実施。9月28日谷山北公民館で第5回目の大島紬講座を実施。9月30日~10月2日名古屋市内で本場大島紬フェスティバル開催。

### 本場大島紬織物製造業

平成 23 年 8 月の検査反数は 645 反で、前年対比 97.7% (マイナス 15 反) となった。

### 木材・木製品製造業

8 月に入り、原木丸太並びに製材製品価格がジリジリ上

向いてきた。いずれも原木出荷量が増えていないことと、7 月末期限の住宅エコポイント制度駆け込み需要でプレカット工場の稼働率が高まったため荷動きが好転したと思われる。季節調整済住宅着工年率換算値は 955 千戸を標榜しているのも、震災から半年を経過した今、相場がこのまま一本調子で続くとは考えにくい。天災も回復しており出材量も増えてくるものと期待される。

### 木材・木製品製造業

本県の住宅着工戸数をみても、東日本大震災にも拘わらず、概ね前年度を上回る着工戸数である。また、木造率も 6 割を超えており、シェアは高いものがある。このような数字から見ても、工務店や木材業界一部では明るさを取り戻している企業もある。しかしながら、住宅金融施策やエコポイント制度などの前倒しによる駆け込み需要のお陰であり、その反動を心配しているという声も聞く。この様に不安定な要素を抱えており、楽観できない状況にあることには間違いない。

### 生コンクリート製造業

出荷量は、対前年比 92.2%の 112,026 立米で、特に減少した地域は、川薩、始良伊佐、垂水桜島、大隅、種子島、屋久島、奄美大島、奄美南部、喜界島で、特に増加した地域は、鹿児島、指宿、串木野、宮之城、出水、南隅、甌島であった。官公需は対前年比 91.8%の 57,122 立米で、民需は対前年比 92.6%の 54,904 立米であった。今月は官公需、民需ともに対前年比で減少した。また、3 カ月ぶりに官公需が民需より多い月となった。

### コンクリート製品製造業

8 月度の出荷トン数は 7,838 トンで、前年度同月比 140.8%であった。出荷量は全地区において同等もしくは増加となった。8 月度の受注は若干ではあるが前年度同月比に対して増加となった。

### 機械金属工業

原材料、資材の入手が難しくなっている。

### 仏壇製造業

海外輸入仏壇内訳(主たる輸入国は中国、ベトナム、タイ等)平成 23 年 5 月 26,368 本、6 月 27,265 本、7 月 24,223 本、2011 年累計 156,607 本。金の地金高騰により、各社値上げの動きあり。

### 印刷業

このところの円高と、国政の不安定も悪影響の原因とみられる諸材料の上昇により、仕入れも負担増、反して受注額の増加は簡単ではなく、会社の維持そのものを危ぶむ声すら聞こえてくる。

**knt!**  
近畿日本ツーリスト九州

カタチにします。ときめき・キラメキ・おもてなし

近畿日本ツーリスト九州

鹿児島支店 支店長 南 泰行

〒892-0842

鹿児島市東千石町1-1第8川北ビル2F

TEL : 099 (223) 3205

FAX : 099 (239) 8159

## 非 製 造 業

### 卸売業

「節電」が「節約」にまで波及している。気候の変動が大きかったとする見方もあるが、夏場の売れ筋商品が全くの不振であった。個人消費に再び後退感が感じられる月であった。

### 中古自動車販売業

8月は落ち込む月ではあるが、例年に増して非常に厳しかった。来客も少なく今後は懸念される。早期景気回復が望まれるが、残念ながら当分は現況が続くそう。

### 青果小売業

前月比 105.8%、前年同月比 91.8%

### 農業機械小売業

最近では全体の売上げが持ち直している状況も感じられる。春需要が長雨で心配され、震災の影響もあったが、各社が努力した結果が出ていると思われる。

### 石油販売業

原油価格の上昇と円高で仕切り価格に大きな変動はなかったものの、物流の動きが鈍っている。東日本大震災後の需給バランスの崩れと円高でSS経営は厳しさを増している。早急な復興と円高是正を切望している。

### 鮮魚小売業

総務省が発表した6月の1世帯当たりの魚介類支出額は前年同月比2%減。また、購入数量が増加したのはエビ、ブリ、マグロ。大幅に減ったのはカニその他、サンマ、アジ、タイ等と掲載されていた。

### 商店街（霧島市）

8月の売上高は前年比減少の傾向であった。霧島の観光地については夏休みということで様々なイベントが目白押しであった。新燃岳の大規模な噴火以来、観光客の出足は好調だったと聞いている。9月は街中賑わい事業として、当組合も協力し、こくぶ通り会連合会（6組織）にてイベントを行う予定である。

### 商店街（薩摩川内市）

年金支給の月だったためか、まあまあという店が多かった。

### 商店街（鹿児島市）

夏休みということもあって、九州新幹線を利用した帰省客・観光客は増加し、飲食業にとっては一定の効果があつたが、アパレル関係は価格帯によって景況が分かれた。安価な商品、雑貨は好調だったが、Sale対象外及び秋物は出足が鈍い。

### 商店街（鹿屋市）

夏祭りを開催した。ビアパーティーや前夜祭、本祭りとも大いに賑わった。9月からラーメン屋がオープンする。また、まちの駅一番館の2周年記念祝などの催しがある予定。

### サービス業（旅館業/県内）

夏休み期間中の土日やお盆休み期間中を中心に、特に観光地等ではお客様が多かったようだ。しかしながら、全体的には若干の増加程度と思われるが、国内の他県の状況と比較すると、鹿児島は数少ない好調な地域になっているようだ。

### サービス業（美容業）

人材の育成、技術レベルのアップが問題。雇用人員の削減、労働時間の短縮などが原因であろう。共同しての勉強会に努めているが、就労時間がまちまちで全員が揃わない。

### 旅行業

昨年は口蹄疫の影響で宿泊が落ち込んだが、今年は九州新幹線全線開通効果で九州内の旅行が割引の無くなった高速道路利用よりJRへ流れた。例年、夏休みは、東京方面の家族・OLの個人旅行の申込みが多いが今年はTDR（東京ディズニーランド）・関東方面の申込みが減って離島等の沖縄方面と九州内の宿泊旅行が増えてきている。円高の影響で、夏休み海外への家族連れの間い合わせが増えたが申込みまで至っていない。8月の集客状況は前年比：107.5%であった。

### 建築設計業

7月の県発注金額は前年同月より47%減の57億8百万円で、4月からの累計でも、37.1%減と低水準となっており、東日本大震災の影響で国の補助金などが地方まで下りてこないためとみられる。また、民間活力も低迷していることから、当組合員も仕事を豊富に抱えている事務所と下請業務に回らざるを得ない事務所に二極化されつつあり、依然として厳しい状況に変わりはない。

### 自動車分解整備・車体整備業

盆休みが日曜日と重なり、実働日数が多かった割には、全体的に車検台数の伸びが見られなかった。

### 電気工事業

太陽光発電設備の業界はいくらか活況をみているようだが、全般的には依然として悪い状況である。

### 内装工事業

8月のラベル売上数は、カーテンラベル対前年同月比189.5%で増加、壁装ラベル対前年同月比294.2%で大幅に増加、じゅうたん等ラベル対前年同月比80.0%減少した。公共事業は減少の一途をたどっているが、リフォーム関係は順調に伸びつつある。しかしながら、企業間の競争は激化しているため利幅は減少している。

### 建設業（鹿児島市）

入札制度システムの度重なる変更の対応に追われている。

### 建設業（曾於市）

会員の受注高は激減しており、経営状況はさらに厳しさを増している。

### 貨物自動車運送業

8月に入り、燃料価格は低下傾向であり、貨物運送業者にとっては事業をするうえで経費削減となった。また、荷動きについては、食肉関係は順調に推移したが、下り荷物が非常に厳しい状況であった。

### 倉庫業

加工用は在庫量が激減している。飼料用は平年並みの物流である。業界景況は右肩下がりの様相を呈している。



## 平成23年9月 鹿児島県内企業倒産概況

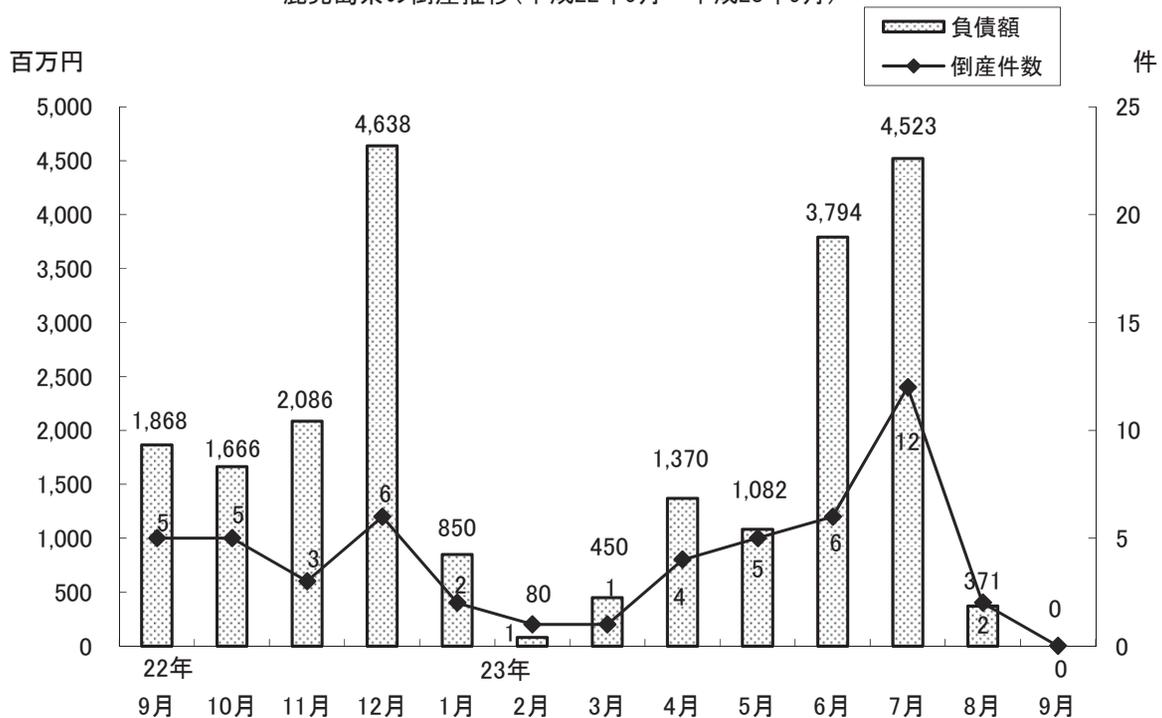
(負債額 1,000 万円以上・法的整理のみ)

(株)帝国データバンク 鹿児島支店

**件数 0 件 負債総額 0 円**

件数、前年同月比 5 件減 負債総額、前年同月比 100%減

鹿児島県の倒産推移(平成22年9月～平成23年9月)



### 【概要】

2011年9月の鹿児島県内の企業倒産(負債額1000万円以上・法的整理)は、件数で0件(前月比100%、2件減少、前年同月比100%、5件減少)、負債総額は0円(前月比100%、3億7100万円減少、前年同月比100%、18億6800万円減少)となった。

### 【ポイント】

9月度としての倒産件数は、前月比2件減の0件であった。件数で見ると前月までの増勢基調からは一転して落ち着きを見せ、今年度初の0件となった。倒産集計としては任意整理を除く法的整理のみを対象とした2005年5月発表以降では初の0件に留まったが、現状では任意整理の形ながら今後法的整理に向かう可能性を秘める企業の存在まで否定されるものではない。

### 【今後の見通し】

9月発表の内閣府月例報告によると、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの持ち直しているとして8月同様の見解を示している。下振れリスクとしては海外景気の減速懸念や為替レート・株価の変動をあげている。さらに住宅建設は持ち直しの動きがみられ、輸入は横ばいながらも輸出は持ち直しの動きがみられるとしている。しかし、企業収益については増勢が鈍

化しているから、減少しているに下方修正されておりデフレの影響や雇用情勢の悪化懸念も続いている。

鹿児島県内の景況としては、観光サービス業においては新幹線効果により県外客の入り込み客の増加により、ホテル旅館の稼働率が上昇し、秋口に入ってもこの傾向は続いている。入り込み客については福岡・大阪などの大都市圏だけに留まらず、山陽地区など新幹線沿線ちくからの観光客も多く、継続的な活況をみせている。

しかし一部大型店に伸びはみられるも全体として個人消費は弱含みの推移であり、建設業においても民間工事に若干の回復が指摘されるも公共工事の動きは鈍く、全体としては災害復旧工事などの特需もなく停滞感が強い。

今後の動向としては倒産件数としては表面的には小康状態を保っているかにみえるものの、中小企業金融安定化法の適用による返済猶予企業の再生進捗や自主休業業といった事業継続について苦境に立たされている企業は依然として潜在しており、環境の好転がみられない中、再度増加に転じる可能性もあろう。

# 経営セーフティ共済

「経営セーフティ共済」は、中小企業倒産防止共済制度の愛称です。

## 取引先の突然の倒産!まさかのときの 資金調達先は準備していますか?

### 加入し、掛金を積み 立てておけば...

回収困難となった売掛金(被害額)相当の資金を調達できます。(最高8,000万円まで)

### 「取引先の倒産」と 「商取引の事実」の 確認で迅速に貸付実行。

## 平成23年10月から改正!

- ① 共済金の貸付限度額 :  
3,200万円 → 8,000万円
- ② 掛金の積立上限額 :  
320万円 → 800万円
- ③ 掛金月額の上限度額 :  
8万円 → 20万円
- ④ 共済金の償還期間 :  
一律5年 → 貸付額 に応じて5~7年  
5,000万円未満 5年  
5,000万円以上6,500万円未満 6年  
6,500万円以上8,000万円以下 7年
- ⑤ 早期償還手当金の創設

★掛金は損金(必要経費)に算入できます。

●本制度の詳細内容は、パンフレット・ホームページ等を必ずご覧ください。

共済制度のお申し込みは

## 鹿児島県中小企業団体中央会

鹿児島県鹿児島市名山町9番1号  
鹿児島県産業会館5階  
Tel:099(222)9258 Fax:099(225)2904

共済制度の運営機関



中小企業と地域振興をもっとサポート  
独立行政法人

## 中小企業基盤整備機構

〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

共済相談室 TEL **050-5541-7171**  
URL <http://www.smrj.go.jp/kyosai/index.html>

## 美味しい時間を3つのレストランで



1階 カフェレストラン トリアン



2階 日本料理 七彩



13階 スカイラウンジ フェニックス

## 鹿児島 サンロイヤルホテル

鹿児島市与次郎1丁目8番10号 Tel:099-253-2020



ホテル ⇄ 鹿児島中央駅・天文館

**無料シャトルバス運行中!**

## 中央会関連主要行事予定

平成 23 年 11 月	
9 日(水) 13:30	小企業者組織化特別講習会 鹿児島市「ホテルレクストン鹿児島」 テーマ「想定外では済まされない! 東日本 大震災から学ぶ 中小企業の危機管理」
17 日(木) 14:00	第 63 回中小企業団体全国大会 名古屋国際会議場「センチュリーホール」 大会テーマ 「立ち上がろう! 中小企業 絆を活かして」
24 日(木) 14:30	中央会理事会 鹿児島市「城山観光ホテル」
24 日(木) 15:15	商工中金協力会 鹿児島市「城山観光ホテル」 第一部 講演会 第二部 懇親会
平成 23 年 12 月	
28 日(水)	仕事納め

### 小企業者組織化特別講習会

想定外では済まされない!

東日本大震災から学ぶ

#### 中小企業の危機管理

平成 23 年 11 月 9 日(水) 13:30~15:30

鹿児島市「ホテルレクストン鹿児島」

講師: (有) 菌田経営リスク研究所

代表取締役 菌田恭久 氏

東日本大震災からいち早く事業再開を遂げた企業は、事前に、企業活動に影響するリスクを想定し、いち早い復興のための準備をしていました。災害は予期せぬ時にやってきますが、どんな想定外の事態に直面しても、事業を中断させない、万が一中断しても早期に復旧させるための準備・対策を立てるために、中小企業における危機管理能力及び事業継続能力の向上を図ることを目的に講習会を開催いたします。



もう一本の  
シートベルト、  
自動車保険は  
ONE-Step

損保ジャパン

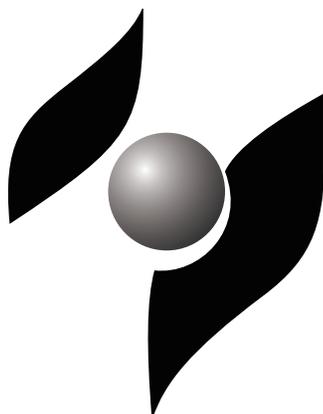
保険をもっと便利にもっと身近に、もしもの時にお客さまを守る「個人用自動車総合保険ONE-Step」。契約更新のお手続きをサポートする「安心更新サポート」も好評です。

ONE-Stepは、お客さまとご家族のカーライフを応援する安心でやさしい自動車保険です。

株式会社 損害保険ジャパン

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 TEL.03(3349)3111  
ホームページアドレス <http://www.sompo-japan.co.jp>

中小企業と、熱き絆で。



人を思う。未来を思う。

商工中金

商工中金 鹿児島支店

〒892-0847 鹿児島市西千石町 17-24 ☎ 099-223-4101  
<http://www.shokochukin.co.jp/>

半世紀で加入企業 **100万社** 以上の実績！

退職金は、国がサポートする **中退共制度** をご活用ください。

国の制度だから

**安心**

国から掛金の助成を受けられます

社外積立だから

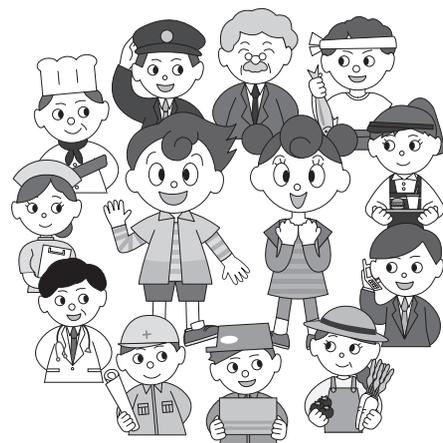
**簡単**

従業員ごとの納付状況や退職金試算額をお知らせします

掛金は全額非課税だから

**有利**

節税に加え、手数料もかかりません



加入範囲、  
広がっています！

➤ 平成23年1月から同居の親族のみを雇用する事業所も、  
一定の要件を満たしていれば加入できるようになりました

詳しくは ▶ [中退共](#) [検索](#)

独立行政法人 勤労者退職金共済機構  
中小企業退職金共済事業本部

ちゅうたいきょう  
略称：中退共

〒105-8077 東京都港区芝公園1-7-6  
TEL 03-3436-0151(代表) FAX 03-3436-0400  
<http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp/>

*with you*

中小企業がこしま10月号 平成23年10月10日発行(毎月10日発行) 第六七六号

定価二〇〇円

発行所／鹿児島県中小企業団体中央会

鹿児島市名山町9番1号 〒892-0821

発行人／岩田泰一 印刷所／渕上印刷株式会社

電話(099)222-9258 FAX(099)225-2904

電話(099)268-1002 FAX(099)266-3423